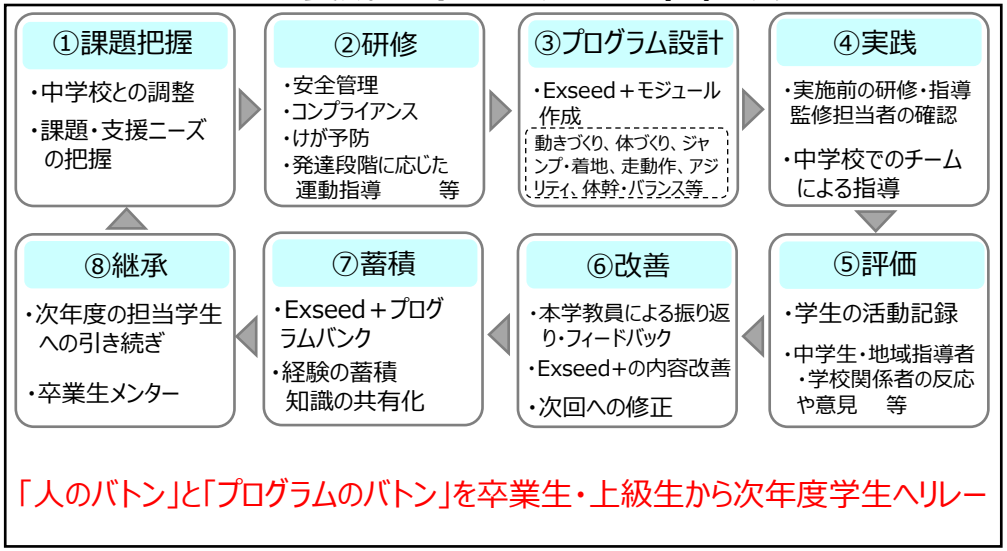
「令和8年度 大学スポーツ総合支援事業」企画提案書（事業概要資料）

②大学生指導員の養成・確保に関する実証事業［指導者派遣型］

大学名	鹿屋体育大学

実施計画名	NIFS Exseed＋地域スポーツ支援・バトンプロジェクト ―大学生がつくり、地域が使い、次世代へつなぐ運動プログラム開発モデル―
事業概要	本事業では、本学がこれまでスポーツ科学の知見をもとに開発・提供してきた子どもの運動プログラム「Exseed」を基盤として、鹿児島県内の中学校における中学生年代への指導支援に活用できる発展型プログラム「Exseed＋」を構築し、大学生指導員の養成・派遣を一体的に実施する。学生は課題把握→研修→設計→実践→評価→改善→蓄積→継承の循環を経験する。成果は「Exseed＋プログラムバンク」に蓄積し、人のバトンとプログラムのバトンにより継承することで、持続可能な大学生指導員養成・派遣モデルを構築する。

■大学生指導員の養成・確保に当たっての仕組みやフロー



■主な参加者・想定人数

区分	内容	人数
研修受講者（学内）	鹿屋体育大学　学生	20名
指導対象者	鹿児島県鹿屋市、鹿児島市、姶良市、南さつま市等の中学生	100名
派遣先中学校教諭	鹿児島県鹿屋市、鹿児島市、姶良市、南さつま市等の中学校教諭	15名

■実証事業の検証・評価方法

評価の視点	評価項目	評価指標	評価の視点	評価項目	評価指標
大学生指導員の養成効果	研修理解度確認	平均80%以上	Exseed＋プログラムバンクの改善・ノウハウ蓄積	Exseed＋作成・改良モジュール数	6件
	実践参加学生数	12名		大学生指導員への評価実施率	100%
	実施回数	8回	継続可能性・連携状況	引継ぎ資料整備率	100%
	指導者効力感・安全管理意識	平均4.0以上		次年度継続希望校数（実施校のうち）	75%以上
中学校における実践効果	派遣対象校数	4校		卒業生メンター登録数	3名以上
	中学生の満足度・継続意識	平均4.0以上			
	学校関係者の有用性評価	平均4.0以上			

■事業の実施体制図（学内体制に留まらず、地域の組織・団体との連携体制も示すこと）

